

Mac OS X v10.1.5対応暫定版 PostScriptプリンタドライバ ユーザガイド

本書では、Mac OS X v10.1.5対応PostScriptプリンタドライバのインストール並びに印刷設定について説明します。

注意：

本書は、Classic環境を除くMac OS X v10.1.5 Native (Cocoa/Carbon) 環境対応での説明となります。

Apple Computer Inc.による現在Mac OS X Native環境でのPostScriptプリンタドライバの対応は、Classic環境での対応と比べますと、発展途上レベルとなっています。制限はあるものの、プリンタのインストール・接続設定を行い、通常印刷することができるプリンタドライバを供給する準備が整いましたので、制限付きの暫定版として配布いたします。

暫定版PostScriptプリンタドライバをお使いになる前に、本書をよくお読みください。

重要：

暫定版PostScriptプリンタドライバの制限により発生する予期せぬ印刷時のトラブルに対して、キヤノン株式会社およびキヤノン販売株式会社ならびにElectronics For Imaging Inc.ではその責任を持ちません。お客様の責任において暫定版PostScriptプリンタドライバをお使いください。

お使いになる前に

Mac OS X v10.1.5対応暫定版PostScriptプリンタドライバをお使いになる場合、次の制限・注意事項があります。

プリンタドライバオプション

暫定版PostScriptプリンタドライバでは、以下のオプションを使用することができません。

- ・ カスタムページ機能
- ・ ジョブ注釈メモ機能（ジョブ注釈メモ、グループ名、グループ暗証番号、セキュアプリント、ファックス、メールボックス）

※ お使いの製品によって使用できないオプション項目が異なります。

- ・ ウォーターマーク機能

従来のMac OSやWindows対応コンピュータでは、競合するプリンタドライバオプションを選択した場合、警告ダイアログボックスが表示されるようになっていました。Mac OS X 10.1.5ではこの警告ダイアログボックスが表示されません。本来競合するオプションを選択すると、正しく印刷されませんのでご注意ください。

また、複数のプリントオプションを組み合わせて印刷することが前提の場合があります。組み合わせ設定に不足があった場合、紙詰まりやその他のトラブルの原因となることがあります。

とりわけ、給排紙用プリントオプションを設定する際には、従来のMac OS対応コンピュータ用プリンタドライバで設定可能なオプションの組み合わせをあらかじめ確認しておくことを強くお勧めします。

お使いの複写機・プリンタ機に装着されている排紙オプション

排紙オプションの追加・削除はできません。このため、装着可能な全てのオプションを印刷時に画面で選択できるように設定しています。お使いの排紙オプションを確認して適宜選択してください。

※ 印刷する際に：

排紙オプションを使って印刷する場合には、「印刷部数と印刷ページ」ポップアップメニューで「丁合」チェックボックスのチェックをはずしてください。予期せぬトラブルが発生することがあります。

用紙サイズ

「ページ設定」ダイアログボックスに表示される用紙サイズが、表に示すように、従来のMac OS 9までとは異なる用紙サイズ名で表示されることがあります。表の左側の表記がMac OS 9のもの、右側の表記がMac OS X 10.1.5のものであります。適宜読み替えてご利用ください。

MacOS9	Mac OS X 10.1.5
B4	B4(JIS)
Executive	Executive 封筒
Monarch	Monarch 封筒
COM10	#10 封筒
ISO-C5	C5 封筒
DL	Long 封筒

注意：

「Executive」は「Executive 封筒」と表示されますが、封筒ではありません。

また、アプリケーションによっては、「R」付きの用紙サイズを選択して印刷すると、「R」なしの用紙サイズを選択する場合と同じ給排紙方法になってしまうことがあります。

次のMicrosoftオフィスアプリケーションやAdobe社のアプリケーションからは指定した 'R' 付きの用紙サイズで正しく印刷されます。

<Microsoftオフィスアプリケーション>

Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint

<Adobe社のアプリケーション>

Adobe Acrobat Reader 5.0、Adobe Illustrator 10.0.1、Adobe Photoshop 7、Adobe InDesign 2.0.1

プリンタ内蔵書体

プリンタ内蔵書体は、Adobe Illustrator 10 / Adobe InDesign 2.0等のアプリケーションからのみ使用することができます。（2002年6月現在）

印刷ジョブの管理

お使いの製品に印刷用として送信されたジョブは、Command Workstation、Fiery WebSpooler、Fiery Spooler等のジョブ管理ツールで設定などを確認・編集することができますが、ジョブ名やユーザ名が文字化けとなったり、「不明」と表示されたり、または空白になることがあります。

※ お使いの製品によって提供されるツールが異なります。

プリンタ記述 (PPD) ファイルのインストール

インストーラを使って、Mac OS X v10.1.5対応暫定版PostScriptプリンタドライバ用 PPD ファイルをインストールします。PPD ファイルは、以下のフォルダにインストールされます。

<インストール先>

起動ディスク/Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/ の下の英語・日本語用両フォルダ (en.lproj、ja.lproj)

注意：

インストールする際、管理者の名前とパスワードが必要になります。

PPDファイルのインストールは次の手順で行います。

PPDファイルをインストールするには：

- 1** お使いの製品に対応したディスクイメージファイル「*****.dmg**」をダブルクリックします。
- 2** デスクトップ上に作成された仮想ディスクをダブルクリックします。「*****.pkg**」ファイルをダブルクリックして、ファイルを起動します。
- 3** 認証を求めるダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスの左下の「**カギ**」アイコンをクリックします。
- 4** 「**認証**」ダイアログボックスで管理者の名前とパスワードを入力し、「**OK**」をクリックします。
- 5** 「**紹介**」画面でインストール内容と注意事項が表示されます。内容をよく読み、インストールを続行する場合には「**続ける**」をクリックします。
- 6** 「**使用許諾契約**」画面で表示される内容を確認し、「**続ける**」と「**同意します**」を順番にクリックします。
- 7** 「**インストール先を選択**」画面で、PPDファイルのコピー先としてMac OS X v10.1.5がインストールされているボリュームを選択し、「**続ける**」をクリックします。

注意：
同じ名称のPPDファイルが、指定したボリューム先にすでにインストールされている場合、同インストーラのPPDファイルで上書きされてしまいますので、ご注意ください。
- 8** 「**インストールの種類**」画面で「**インストール**」をクリックします。PPDファイルのコピーが開始します。

9 コピー終了後、「仕上げ」画面で「閉じる」をクリックします。

プリンタの追加

Mac OS X v10.1.5対応暫定版PostScriptプリンタドライバを使ってプリンタに接続する方法は、AppleTalkプリンタ、またはIPを使用するLPRプリンタとして設定する2つの方法があります。

Mac OS Xのヘルプ表示を参考にして、ネットワーク管理者と相談のうえ、どちらをお使いいただくかご判断ください。

注意：

Mac OS X v10.1.5ならびにお使いのプリンタであらかじめネットワーク設定が完了していることをご確認ください。

プリンタの追加は次の手順で行います。

注意：

Mac OS X v10.1.5では「Print Center」でプリンタの追加・削除・切り替えを行います。

プリンタを追加するには：

AppleTalkプリンタの場合

- 1** 起動ディスクの「Applications : Utilities」フォルダ内の「Print Center」をダブルクリックします。「Print Center」が起動します。
- 2** 「プリンタリスト」ウインドウで「プリンタを追加」をクリックします。

注意：
初回時には別のダイアログボックスが表示されます。そこで「追加」をクリックします。
- 3** 「プリンタリスト」ウインドウの一番上のポップアップメニューをクリックし、「AppleTalk」を選びます。

4 使用するプリンタを選択します。AppleTalkのゾーンが存在する場合は、プリンタが接続されているゾーンを選択します。「名前」欄には、そのゾーンに所属するプリンタのリストが表示されますので、使用するプリンタを選択し、「追加」をクリックします。

5 「プリンタリスト」ウィンドウでプリンタが追加されたことを確認し、「プリンタリスト」ウィンドウを閉じます。Print Centerが終了します。

6 印刷機能のある任意のアプリケーション（TextEditなど）を起動します。

7 起動したアプリケーションの「ファイル」メニューから「ページ設定」を選択します。「ページ設定」ウィンドウの「フォーマット：」ポップアップメニューから、手順4で追加したプリンタ名を選択して、「用紙サイズ：」ポップアップメニューとの間のスペースにお使いの製品名称が表示されていることを確認してください。

異なる製品名、または "Generic" が表示されている場合、PPDファイルが正しく選択されていません。引き続き以下の手順に従って操作をしてください。

8 起動ディスクの「Applications : Utilities」フォルダ内の「Print Center」をダブルクリックします。

9 「プリンタリスト」ウィンドウで設定したプリンタ名を選択して「削除」をクリックします。

10 「プリンタリスト」ウィンドウを閉じます。

11 手順1.からやりなおします。

注意：

手順4.でプリンタを選択後、「プリンタの機種：」ポップアップメニューから「その他」を選択し、起動ディスク/Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lprojの中から、お使いの製品に対応したPPDファイルを選択して「追加」をクリックします。

PPDファイルの名称は、お使いの製品名称と同じです。

IPを使用するLPRプリンタの場合

- 1 起動ディスクの「Applications : Utilities」フォルダ内の「Print Center」をダブルクリックします。「Print Center」が起動します。
- 2 「プリンタリスト」ウインドウで「プリンタを追加」をクリックします。

注意：
初回時には別のダイアログボックスが表示されます。そこで「追加」をクリックして手順3 に進みます。
- 3 「プリンタリスト」ウインドウの一番上のポップアップメニューをクリックし、「IPを使用するLPRプリンタ」を選びます。
- 4 「LPRプリンタのアドレス：」欄でプリンタのIPアドレスまたはDNS名を入力します。

「サーバ上のデフォルトのキューを使う」のチェックを外し、「キュー名：」欄にプリント接続名を入力します。

注意：
プリント接続名は、お使いの製品固有の名前を入力します。『使用開始ガイド』または『インストールガイド』の「Windows NT 4.0でのTCP/IP - lpr 印刷設定作業」をご確認ください。
同じ名称のプリント接続名（printなど）を複数製品で使用することはできませんので、ご注意ください。
- 5 「プリンタの機種：」ポップアップメニューで「その他」を選択します。
- 6 起動ディスク/Library/Printers/PPDs/Contents/Resouces/ja.lprojの中から、お使いの製品に対応したPPDファイルを選択して「選択」をクリックします。

注意：
PPDファイルの名称は、お使いの製品名称と同じです。
- 7 「追加」をクリックします。
- 8 「プリンタリスト」ウインドウでプリンタが追加されたことを確認し、「プリンタリスト」ウインドウを閉じます。Print Centerが終了します。

9 印刷機能のある任意のアプリケーション（TextEditなど）を起動します。

10 起動したアプリケーションの「ファイル」メニューから「ページ設定」を選択します。「ページ設定」ウインドウの「フォーマット：」ポップアップメニューから、手順7で追加したプリンタ名を選択して、「用紙サイズ：」ポップアップメニューとの間のスペースにお使いの製品名称が表示されていることを確認してください。

注意：

プリンタ名は、手順4で「キュー名：」欄に入力したプリント接続名で表示されます。

異なる製品名、または "Generic" が表示されている場合、PPDファイルが正しく選択されていません。引き続き以下の手順に従って操作をしてください。

11 起動ディスクの「Applications : Utilities」フォルダ内の「Print Center」をダブルクリックします。

12 「プリンタリスト」ウインドウで設定したプリンタ名を選択して「削除」をクリックします。

13 「プリンタリスト」ウインドウを閉じます。

14 手順1.からやりなおします。

補足説明書

本書では、製品毎に異なる固有の情報について補足説明します。お使いの製品を正しく理解し有効活用するために、内容をよくお読みください。

CLC5000 複写機対応コントローラ製品をお使いのお客様へ:

お使いの複写機に装着されている給排紙オプション

ペーパーデッキ、ステイプルソータが装着された状態でデバイス設定をしています。フィニッシャーは設定されていませんので、ご注意ください。

Adobe InDesign 2.0.1 または Adobe Illustrator 10.0.1 からの印刷

『スポットカラーマッチング』プリントオプションを「オン」にしても効果が得られないことがあります。

プリンタドライバのバージョン表記が、

CLC1100 シリーズ複写機対応コントローラ製品をお使いのお客様へ:

お使いの複写機に装着されている給排紙オプション

両面トレイ、トレイ 3、ペーパーデッキ、ステイプルソータが装着された状態でデバイス設定をしています。

AppleTalk プリンタとしてプリンタを設定する場合

PPDファイルを自動選択してプリンタを追加すると、ペーパーデッキ給紙オプションがプリンタドライバで選択できないことがあります。この場合、『Mac OS X v10.1.5対応暫定版PostScriptプリンタドライバユーザガイド』の“プリンタの追加: AppleTalkの場合”の手順8から手順10を行ってください。

プリンタドライバオプション

『12x18(広印字領域)』プリントオプションに対応したコントローラ製品の場合、プリンタドライバの「用紙サイズ」項目から同オプションを選択することができますが、同オプションは、お使いの複写機が CLC1160 ならびに CLC1180 でのみ有効になります。

キヤノクリエイティブプロセッサ-2100 シリーズならびにキヤノクリエイティブプロセッサ-2120/2125 対応コントローラ製品をお使いのお客様へ:

プリンタ記述(PPD)ファイルのインストール

インストーラとして、『***_Fin_***.dmg』と『***_SS_***.dmg』ファイルが提供されています。

フィニッシャー・H1または**サドルフィニッシャー・H2**が排紙オプションとして装着されている場合には、『***_Fin_***.dmg』ファイルを選択してください。

ステイプルソータ・N1が排紙オプションとして装着されている場合には、『***_SS_***.dmg』ファイルを選択してください。

いずれも装着されていない場合、どちらのファイルをインストールしても印刷はすることができます。

お使いの複写機・プリンタ機に装着されている給排紙オプション

ペーパーデッキ、ステイプルソータ・N1 またはサドルフィニッシャー・H2 が装着された状態でデバイス設定をしています。

プリンタドライバオプション

フィニッシャー・H1 が装着されている場合、プリンタドライバで「製本印刷」プリントオプションを選択しないでください。

キヤノン GP225/220/216/215/211/210 シリーズ複写機対応 PS ネットワークプリンタボード・C1

お使いの複写機に装着されている給排紙オプション

マルチトレイ 12、両面ユニット、L1(4 段カセット)、ファクスボード、封筒カセットが装着された状態でデバイス設定をしています。

プリンタドライバオプション

「その他」という用紙サイズが表示されますが、選択しないでください。

キヤノン GP605/555 シリーズ複写機および LBP-1060 対応 PS ネットワークプリンタボード・D1

お使いの複写機に装着されている給排紙オプション

サドルフィニッシャー、ペーパーフォールディングユニット、表紙インサーター、サイドデッキが装着された状態でデバイス設定をしています。

プリンタドライバオプション

「その他」という用紙サイズが表示されますが、選択しないでください。

注意： キヤノン GP605/555 シリーズ複写機製品をお使いの場合となります。

キヤノン GP405/335/315 シリーズ複写機対応 PS ネットワークプリンタボード・E1

お使いの複写機に装着されている給排紙オプション

サドルフィニッシャー・C2、4 段カセット、サイドデッキ、ファクスボード、メールボックスが装着された状態でデバイス設定をしています。

キヤノン Color Laser Shot LBP-2260PS ならびにキヤノン Color Laser Shot LBP-2260PSII

お使いの複写機に装着されている給排紙オプション

両面ユニット、2000 枚ペーパーデッキ、2x500 枚ペーパーデッキ、7ピンソータが装着された状態でデバイス設定をしています。

両面ユニットが装着されていない場合

「両面印刷」項目から「上と下を合わせる」または「上と上を合わせる」プリントオプションを選択しないで下さい。

ペーパーデッキが装着されていない場合

「給紙段」の選択肢から「カセット 3」または「カセット 4」を選択しないでください。

2000 枚ペーパーデッキが装着されている場合

「給紙段」の選択肢には「2000 枚ペーパーデッキ」が表示されません。2000 枚ペーパーデッキから給紙をする場合には、給紙段として「カセット 3」を選択してください。「カセット 4」は選択しないでください。

2x500 枚ペーパーデッキが装着されている場合

Mac OS X 10.1.5 対応暫定版プリンタドライバでは、「給紙段」として「カセット 3」を選択する場合、「11x17」および「A3」用紙サイズを選択しても競合オプションを通告する警告メッセージが表示されませんが、2x500 枚ペーパーデッキが装着されている時には「11x17」および「A3」用紙サイズを指定しないでください。

注意： 従来の Mac OS 用ドライバでは、「11x17」および「A3」用紙サイズを選択する場合、「カセット 3」は選択できない給紙段となっています。

7ピンソータが装着されていない場合

「排紙先」項目から「ソータピン」、「ピン 1」、「ピン 2」、「ピン 3」、「ピン 4」、「ピン 5」、「ピン 6」、「ピン 7」プリントオプションを選択しないで下さい。

キヤノンクリエイティブプロセッサ CP660 PS モデル対応プリンタボード CP PS-A1 および CP PS-A1S

お使いの複写機に装着されている給排紙オプション

両面ユニット、1000 枚ペーパーデッキ、2x500 枚ペーパーデッキ、7ピンソータが装着された状態でデバイス設定をしています。

両面ユニットが装着されていない場合

「両面印刷」項目から「上と下を合わせる」または「上と上を合わせる」プリントオプションを選択しないで下さい。

ペーパーデッキが装着されていない場合

「給紙段」の選択肢から「カセット 3」または「カセット 4」を選択しないでください。

1000 枚ペーパーデッキが装着されている場合

「給紙段」の選択肢には「1000 枚ペーパーデッキ」が表示されません。1000 枚ペーパーデッキから給紙をする場合には、給紙段として「カセット 3」を選択してください。「カセット 4」は選択しないでください。

1000 枚ペーパーデッキが装着されている時に「カセット 3」を選択する場合、1000 枚ペーパーデッキが対応していない用紙サイズを選択しても競合オプションを通告する警告メッセージが表示されませんが、対応していない用紙サイズは選択しないでください。

指定した場合には、「カセット 3」を選択しないでください。

7ピンソータが装着されていない場合

「排紙先」項目から「ソータピン」、「ピン 1」、「ピン 2」、「ピン 3」、「ピン 4」、「ピン 5」、「ピン 6」、「ピン 7」プリントオプションを選択しないで下さい。

キヤノンクリエイティブプロセッサ CP680 PS モデル対応プリンタボード CP PS-A1S

お使いの複写機に装着されている給排紙オプション

両面ユニット、500 枚ペーパーデッキ、2x500 枚ペーパーデッキ、7ピンソータが装着された状態でデバイス設定をしています。

両面ユニットが装着されていない場合

「両面印刷」項目から「上と下を合わせる」または「上と上を合わせる」プリントオプションを選択しないで下さい。

ペーパーデッキが装着されていない場合

「給紙段」の選択肢から「カセット 3」または「カセット 4」を選択しないでください。

500 枚ペーパーデッキをプリンタドライバから選択する場合

「給紙段」の選択肢には「500 枚ペーパーデッキ」が表示されません。500 枚ペーパーデッキから給紙する場合には、給紙段として「カセット 3」を選択してください。「カセット 4」は選択しないでください。

7ピンソータが装着されていない場合

「排紙先」項目から「ソータピン」、「ピン 1」、「ピン 2」、「ピン 3」、「ピン 4」、「ピン 5」、「ピン 6」、「ピン 7」プリントオプションを選択しないで下さい。